

3年生の学習には慣れてきたでしょうか。

記述式で答える難しい問題で苦勞している人もいるかもしれませんが、まじめに1年間学習を続けていけば、しっかりと書けるように実力をつけていくことができます。がんばって授業についてきてください。

語句の問題では、テキストに出てきたものを基本にして、関連する言葉を自分で調べてみましょう。同じ意味の言葉や反対の意味の言葉、同じ言葉の入った別の表現などを合わせて覚えるようにすれば、効果的に語彙を増やすことができます。

◆第4回 詩①／慣用句①

練成問題では詩を学習します。詩を読むときは、頭の中で詩に描かれている世界を映像化することが大切になります。この回はかなり難しい回ですので、自分で設問が解けなくても、動画を見て内容が理解できれば問題はありません。

語句は慣用句の学習をします。この回では、動物名や体の一部を表す漢字が入った慣用句がたくさん出てきます。動物名や体の一部を表す漢字が入った慣用句は入試でよく出題されますので、しっかり覚えるようにしてください。

◆第5回 随筆文①／つなぎことば

練成問題では随筆文を学習します。随筆文では筆者が体験したことが具体的に述べられている部分と、筆者の意見や感想が述べられている抽象的な部分を読み分けることがポイントになります。今回の文章の主題は3年生には理解しにくいものですが、この文章を通して成長してほしいと思います。

語句はつなぎことばを学習します。つなぎことばは文章を正しく読解する際に重要になります。まず問一でつなぎことばの種類とその働きを学びます。この回の基本になる問題ですので、しっかりと身につけてください。

◆第6回 随筆文②／外来語①

練成問題では随筆文を学習します。筆者の意見が書かれている部分を見つけ、設問を解くときに生かす練習をします。主題がわかれば設問は素直に解けるものが大半です。

語句は外来語の学習をします。外来語は灘中の入試で必ず出題されます。ふだんから意識して外来語に着目するようにしましょう。意味を見ると外来語がすぐに出てくるように練習してください。

今月は第4回～第6回の授業です。内容は「逆算」「文章題」そして「場合の数」を学習します。各回の学習の目安は以下の通りです。

◆第4回 整数の計算IV 逆算

式の中の一部が□になっていて、それを求める問題に取り組みます。まずは、逆算の基本となる計算パターンを理解して定着させましょう（例題1）。また、逆算では□を求める式を必ずノートに書いてください。そして、必要に応じて筆算も書くようにしましょう。

① 例題と練習

例題はすべて動画が用意されています。

例題1 逆算をする上で最も大切な計算パターンです。しっかりと身につけてください。

例題2 逆算を利用する簡単な文章題に取り組んでみましょう。はじめに「ある数を□とする」という一文を書く等、ノートの書き方も意識しましょう。

例題3 例題2と同じく逆算を利用する文章題です。問題文をよく読み、どの数を答えなければいけないかをしっかりと確認しましょう。この問題についても「ある数を□とする」という一文を書くようにしてください。

例題4 余りがある割り算の逆算です。例題1に加えてこれもしっかりと定着させてください。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習に自力で取り組んで、答え合わせをし、間違っていたら、どこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくくなった場合は、再度例題の動画を見てみましょう。

② 復習問題

復習問題は、基本的に例題・練習とほぼ同じタイプの問題が並んでいますので、例題と練習をすべて済ませた後、取り組んでもらいたい宿題としています。

①と②が例題1の、③が例題2の、④と⑤が例題3の、⑥が例題4のそれぞれ改題になっています。

解いたあと答え合わせをして、間違っていたら間違ったところを確認して再度解きなさいというのは、練習と同じです。難しく感じる場合は、対応する例題の動画を参考にしてください。

③ 練成問題

練成問題も、解説動画がすべて用意されています。

① 例題2・例題3とほぼ同等の文章題です。

② 計算の回数が非常に多い逆算です。例題と比べると相当難しくなりますが、将来必ず身につ

けなければいけない計算の手順ですので、頑張って理解してください。場合によっては練成問題③から先に取り組んだ方がよいかもしれません。

③ 例題 1 を発展させた計算問題です。

④ (1)余りがある割り算の文章題です。「余り」は必ず「わる数」よりも小さくなることを理解してください。(2)「何通り」という聞き慣れない言葉が出てきますが、「何種類」と置き換えて考えてください。

⑤ 例題 3 のやや発展的な問題です。

⑥ 逆算の文章題に 3 問取り組みます。どの問題においても、何を□とすれば式が立てられるのかをしっかりと考えてください。

練成問題については、すべて解説動画がありますので、動画を見て理解したうえで、もう一度自分で解いてみることをお勧めします。

今回の練成問題で特に必ず押さえておいていただきたい問題は、①, ③, ⑤となります。

◆第 5 回 文章題 I 和差算・分配算

「和差算」「分配算」という文章題に取り組みます。今回の問題は全て線分図を書いて解いていきます。動画で線分図の書き方をよく理解して、ノートにしっかりと書いてください。線分図は定規を使う必要はありません。フリーハンドで結構ですので、丁寧に書くことを心がけてください。

① 例題と練習

例題はすべて動画が用意されています。

例題 1 まず、兄と弟がもらったお金に関する線分図を書きます。そしてその線分図からの立式の方法もよく理解してください。

例題 2 一度書いた線分図にさらに手を加えて考えるので、例題 1 に比べると難しい問題です。線分図を大きく書いて、細かなところもきっちり書くようにしましょう。

例題 3 3 段の線分図を書いて解く問題です。ノートに十分なスペースをとって、しっかりと線分図を書いてください。書く量が多くなると小さく書いてしまいがちですが、小さくならないように注意してください。

例題 4 例題 3 と同じく 3 段の線分図を書いて解く問題です。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習に自力で取り組んで、答え合わせをし、間違っていたら、どこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくくなった場合は、再度例題の動画を見てみましょう。

② 復習問題

復習問題は、基本的に例題・練習とほぼ同じタイプの問題が並んでいますので、例題と練習をすべて済ませた後、取り組んでもらいたい宿題としています。

①と②が例題 1 の、③と④が例題 2 の、⑤と⑥が例題 3 の、⑦と⑧が例題 4 のそれぞれ改題になっています。

解いたあと答え合わせをして、間違っていたら間違ったところを確認して再度解きなおすというのは、練習と同じです。難しく感じる場合は、対応する例題の動画を参考にしてください。

③ 練成問題

練成問題も、解説動画がすべて用意されています。

① 例題 2 をさらに発展させた問題です。難しいですが、線分図を大きく書いて、必要なことを書きこみながら考えましょう。

② 3つの数に関する問題ですが、題意がつかめれば2段の線分図で処理できます。

③ 一見8個の数がバラバラに出てきているように見えますが、少し工夫することで和差算の問題に落とし込むことができます。

④ 例題 4 をさらに発展させた問題で4段の線分図を書きますが、考え方は例題 4 と同じです。

⑤ 「連続する整数」という言葉は今後もよく出てきますので、しっかりと覚えておいてください。その意味がわかれば、4段の線分図ではありますがそれほど難しい問題ではありません。

⑥ ⑤と同様、「連続する奇数」の意味を理解しておいてください。

⑦ カレンダーを題材にした応用問題ですが、難しい問題ではありません。

練成問題については、すべて解説動画がありますので、動画を見て理解したうえで、もう一度自分で解いてみることをお勧めします。

今回の練成問題で特に必ず押さえておいていただきたい問題は、②, ③, ④, ⑤となります。

◆第6回 場合の数 ならべ方

今回はカードをならべる問題に取り組みます。場合の数は、学年が上がると計算を用いて解くことが多くなりますが、現段階では書きだして答えを出すことに重点をおいて解きます。頭の中だけで考えるのではなく、ノートに順序良く書き出すことを意識して取り組んでください。また、書き出す量が多くなっても、ノートの字が小さくならないように注意しましょう。

① 例題と練習

例題はすべて動画が用意されています。

例題 1 (1)題意がつかめると平易な問題です。(2)小さい数から順番に書き出すようにしてください。

例題 2 (1)3けたになると途端に書きづらくなりますが、小さい数から順番に書き出せるようになりましょう。(2)は(1)に続けて書いていきます。(3)についても、現段階では(1)(2)に続けて全て書き出していきます。

例題 3 例題 2 と条件が異なることをよく理解してください。(1)は例題 2 と同様に小さい数から書き出していきます。(2)は動画では計算を用いていますが、全て書き出してもよいでしょう。

例題 4 順位に関する問題です。問題の条件をしっかりと読み取ってください。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習に自力で取り組んで、答え合わせをし、間違っていたら、どこで間違ったかをよく確認して、再度解き直しをするということを徹底してください。わかりにくくなった場合は、再度例題の動画を見てみましょう。

② 復習問題

復習問題は、基本的に例題・練習とほぼ同じタイプの問題が並んでいますので、例題と練習をすべて済ませた後、取り組んでもらいたい宿題としています。

①と②が例題 1 の、③と④が例題 2 の、⑤と⑥が例題 3 の、⑦と⑧が例題 4 のそれぞれ改題になっています。

解いたあとと答え合わせをして、間違っていたら間違ったところを確認して再度解きなおすというのは、練習と同じです。難しく感じる場合は、対応する例題の動画を参考にしてください。

③ 練成問題

練成問題も、解説動画がすべて用意されています。

① 「0」のカードは一番大きな位に使えないことは必ずおさえましょう。また、動画では(1)で計算を用いていますが、3年生の段階でははじめから全てを計算で処理するのではなく、書き出していく中で規則をつかんで計算を用いるにとどめます。

② 同じ数のカードが2枚あるパターンの問題です。(2)は小さい数から順に書きだしていきます。

③ ②とほぼ同等の問題です。小さい数から順に書きだしていきます。

④ やや条件が複雑な問題です。題意をきちんとつかみましょう。

⑤ 「5でわりきれる」数は一の位が0か5しかないことに着目して書き出していきます。

練成問題については、すべて解説動画がありますので、動画を見て理解したうえで、もう一度自分で解いてみることをお勧めします。

今回の練成問題で特に必ず押さえておいていただきたい問題は、①, ②, ③となります。